

はなみずきの まちだより

2013年10月
第60号

編集・発行 千種区社会福祉協議会
名古屋市千種区西崎町二丁目4番地の1
TEL 052-763-1531 FAX 052-763-1547

ホームページ
<http://www.chikusa-shakyo.jp>

千種区社協

検索

第65回 赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール審査結果

今年度も、区内小中学校の生徒の皆さんから共同募金運動を啓発するポスター・書道を募集したところ、多くの作品をいただきました。多数のご応募ありがとうございました。

入賞

ポスターの部

愛知県共同募金会

佳作



上野小学校1年
清水 莉子



東山小学校3年
白垣 寧々



星ヶ丘小学校4年
三浦 夢大



見付小学校5年
黒江 理沙



富士見台小学校6年
小島 芽依



千種台中学校1年
藤岡 佑海



名古屋大学教育学部附属中学校2年
北村 鈴葉

入選

富士見台小学校
1年生

石田 優

東山小学校
4年生

中島 未稀

千石小学校
2年生

村上 芽衣

自由ヶ丘小学校
6年生

橋詰 颯来

春岡小学校
3年生

佐藤 佑美

富士見台小学校
6年生

松岡 知里

田代小学校
3年生

杉原 亜実

千代田橋小学校
6年生

石井 里彩

田代小学校
4年生

尾形 百恵

振南中学校
1年生

小川 コナ



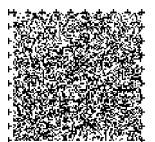
©中央共同募金会

なお、書道の部の作品については次のページに掲載していますのでご覧ください。

SPコード

各ページにSPコードを載せました。SPコードとは、このコードの中に文字情報を記録することができ、専用の読取機で読み取ると本紙の内容を「音声で聞く」ことができます。これにより、高齢者や目の不自由な方にもこの広報紙の情報をご提供できるようになります。(携帯電話で読み取るQRコードではありません。)

この広報紙は共同募金を財源に作成しました。



入賞

書道の部

愛知県共同募金会

朝日新聞厚生文化事業団賞

特賞



椋山女学園大学附属小学校 5年生
清水 遥乃子

愛知県共同募金会

銀賞



椋山女学園大学附属小学校 5年生
白井 琴望

愛知県共同募金会 (佳作)



椋山女学園大学附属
小学校 3年
島内 天音

愛知県共同募金会 (佳作)



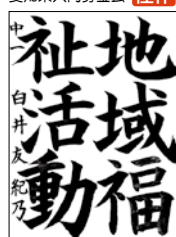
富士見台小学校 5年生
徳田 優美

愛知県共同募金会 (佳作)



高見小学校 5年
石丸 真彩

愛知県共同募金会 (佳作)



椋山女学園中学校 1年
白井 友紀乃

愛知県共同募金会 (佳作)



若水中学校 3年
関田 亜美

入選

高見小学校
3年生
中西 桜子

田代小学校
3年生
佐藤 菜々香

田代小学校
4年生
木全 敦哉

富士見台小学校
4年生
伊丹 真子

田代小学校
5年生
伊藤 凜

内山小学校
6年生
可児 あゆみ

椋山女学園中学校
1年生
村松 紅音

城山中学校
2年生
大角 航希

千種台中学校
3年生
中川 実佳

若水中学校
3年生
大橋 沙也佳

※愛知県共同募金会特賞・審査員特別賞・金賞・銀賞の作品は以下の会場でも展示されます。

展示会場・期間

NHK名古屋放送センタービル1階(プラザ)……10月1日(火)～10月6日(日) 午前10時から午後6時まで
愛知県庁 本庁舎と西庁舎の連絡地下通路……10月8日(火)～10月10日(木) 午前9時から午後5時30分まで

赤い羽根共同募金運動が始まりました。

今年も10月1日から12月31日まで、全国一斉に赤い羽根共同募金運動が行われます。

募金の
使いみち

皆様からお寄せいただいた募金は、地域の福祉団体に配分され、お年寄りや障がいのある方、子どもたちの福祉のために役立てられます。区民の皆様のご協力を心からお願い致します。

寝具クリーニングサービス事業

あくまでも、
丸洗い殺菌です。

日ごろ、布団干しがなかなか出来ない方、クリーニングで布団をふかふかにしませんか？
委託業者がクリーニングをおこないます。布団の販売等は一切いたしません。

対象者 千種区内在住の65歳以上かつ布団干しが困難な次のいずれかに該当する方
①ひとり暮らしの方 ②高齢者のみの世帯の方 ③寝たきりの方
(①～③ともに申込者本人の寝具に限ります。)

対象寝具 掛布団・敷布団・毛布の3種類で合計3枚まで(布団は2枚まで)
1. 布団を予約する数日前に業者より、日程のお知らせ等連絡があります。
2. シミ取りではないため、シミはとれないこともあります。

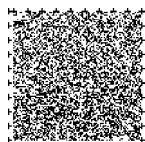
利用料 1,000円(納品時に直接委託業者にお支払いいただきます。)
※羊毛・羽毛布団は追加料金が必要です。※業者は必ず身分証明書を提示します。
※生活保護世帯や毛布1枚だけの場合は無料です。

募集人員 250人(申し込み多数の場合は抽選) **実施時期** 平成25年11月11日(月)～11月29日(金)

申込方法 お住まいの地区の担当民生・児童委員さんを通じて申込用紙を提出してください。
締切: 平成25年10月18日(金)

問い合わせ 千種区社会福祉協議会 電話 763-1531 FAX 763-1547

※この事業は、区民の皆さまからいただきました、赤い羽根共同募金を財源として実施します。
※他業者類似サービスにご注意ください!



ボランティア連絡協議会施設見学会

千種区ボランティア連絡協議会は去る6月28日、8名の参加で一日施設見学会を実施しました。訪問先は「ひなたぼっこ（デイサービスセンター）」、「そよかぜ（グループホーム）」、「こまんば（小規模多機能センター）」の3福祉施設と、オマケとして、市民の有志で作られた15世帯の電気が賄えるという「おひさま発電所」です。

前述の3つの施設は、すべて市民の寄付からつくられたという画期的な誕生だけでなく、通所する人もスタッフもスタンスは同じという各施設のモットーで、利用者さんとスタッフさんの区別がつかないくらい、笑顔と笑い声の絶えない場でした。みなさんにとって‘ここも私の家’なのでしょう。又、「こまんば」のような、利用者の要求に応じて、その日どのような‘使い方’も出来る施設（小規模多機能作業所）が千種区に一つでもあればいいねと、ボラ連で話し合いました。

又“ひなたぼっこ”は、スタッフの給料は、運営委員会の合意で決められ、みんなの時間給が同じということ。「仕事が遅い人も、出来る人も、人生の中で使う時間は同じ」という発想です。この発想はボランティア連絡協議会の運営に共通するものを感じました。

今後は今回の施設見学会で「学び」「感じたこと」をボランティア連絡協議会の活動に活かしていければと思います。

（千種区連絡協議会 溝口記）



「こまんば（小規模多機能センター）」の風景

<千種区ボランティア連絡協議会とは…>

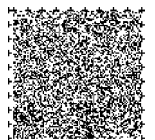
どのようにすれば、千種区内が「住みよいまち」になるかということも考え、グループ・個人が互いに協力し合い、ボランティア活動をより一層活性化させていくために、平成14年5月に発足された会です。

善意の小箱

「千種区の福祉に役立ててください」と善意の寄付をいただきました。 <平成25年6月22日～平成25年9月20日>

- 千種区地域女性団体連絡協議会 様
- 匿名 1 件
- 名古屋ヤクルト販売株式会社 様

皆さまからいただいた寄付金等は千種区の地域福祉の推進に活用させていただきます。
ありがとうございました。



赤い羽根共同募金配分金事業 ～ボランティア・NPO応援助成～

この助成事業は、地域の皆様からご協力いただいている赤い羽根共同募金の一部を財源として、千種区内で活動する非営利の団体(ボランティア団体・NPO団体)が、地域福祉推進の視点から「誰もが安心して生活できる福祉のまちづくり」を目指す事業に対して、総額100万円(1団体最高10万円)の助成を行うものです。申請団体を公募し、書類選考、公開プレゼンテーション、助成額の査定の3段階の審査を行って、助成団体・金額を決定しました。

今年度の公開プレゼンテーションは「地域福祉活動の活性化」「共同募金への理解促進」「参加団体相互の出会いの場」を目的として、6月29日(土)13:00～千種区社会福祉協議会研修室にて開催しました。

第1次審査を通過したボランティア団体・NPO団体、計8団体が助成を受けた事業について、パネルを使ったり、ダンスや音楽演奏などをしたりと工夫を凝らしたプレゼンテーションを行いました。



今年度の助成決定団体

ボランティア団体

特定非営利活動法人

助成金額

心のコンサート事務局

80,000円



Heartful Concert

あじさいグループ

55,000円



講演会の開催・防犯パトロールの実施・道路沿線の清掃

若水おやじの会

60,000円



親子もちつきと花餅作り

名古屋ファミリーウィンド フルール

85,000円



フルール オータムコンサート 2013

災害ボランティアちくさネットワーク

100,000円



区民に地震や風水害などの防災・減災の為に「備える」大切さを啓発活動を通じ知っていただく。

千種パソコン支援ボランティア

90,000円



パソコン初心者や高齢者向けの講座の開設や入力支援など

NPO法人 名古屋コダーイセンター

90,000円



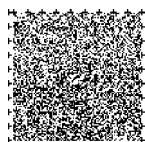
お母さんと子どもの食育～作って食べることを通じて日本の食文化を子どもに伝える～

NPO法人 花＊花

100,000円



第8回 花＊花ふれ愛まつり
「みんなあつまれ！わくわく わいわい」



第3次地域福祉活動計画 策定作業進行中!!



本会では、福祉のまちづくりを進めるために、平成26年度から30年度の5年間を実施期間とした「千種区社会福祉協議会第3次地域福祉活動計画」の策定を進めています。

6月～7月には、作業部会委員のみなさんと一緒に、「千種区の良いところ」や「5年間で取り組んでみたいこと」について話し合い、今後の議論のテーマとなる4つの柱を立てました。8月からは、この4つの柱をもとにワーキンググループに分かれて議論を行い、来年5月の完成を目指してまいります。



作業部会会議の様子



ワーキンググループ会議の様子

4つの柱 (議論のテーマ)

1. 住民主体のネットワークづくり
2. 担い手(人材)の確保・育成
3. 広報・啓発活動
4. 関係機関、団体との連携・協働

作業部会長に突撃インタビュー!!

Q1 計画づくりにあたり、特に気を付けている点は?

千種区の現状に合った計画にすることが必要だと思いますので、地域の現状をいかに正確につかむかがポイントになると考えています。

Q2 どんな計画にしたいですか?

地域の福祉課題の解決に向けて地域のみなさんが主体となって参加しやすい計画にしたいと思います。そのためは、地域のみなさんが身近に感じ、分かりやすい内容にする必要があると考えています。

Q3 千種区民のみなさんへメッセージをお願いします。

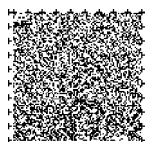
地域福祉とは、簡単に言えば「住み慣れた地域で、家族、近所の人々、知人などとの関係を保ちながら、だれもが自分らしく地域の一員として普通の暮らしをおくることができる状態を作り出していくこと」です。

それを作り出すのは、まさに私たち区民です。みなさんがお互いに支えあうことが大切であり、それこそが地域福祉が目指しているところと言えます。

みなさんには、このことをご理解いただき、計画にお示しする活動への積極的な参加を期待しています。



水野勇夫作業部会長



千種区いきいき支援センターからのお知らせ

(平成25年度下半期)

認知症高齢者を介護する家族支援事業

**参加費
無料**

認知症高齢者を介護するご家族等を対象に、千種区いきいき支援センターでは4つの事業を実施しています。下半期の日程が以下のように決まりました。皆さんの参加を心待ちにしています。

～認知症を理解し、支援の輪を広げましょう～

●認知症家族教室

認知症高齢者を介護しているご家族向けの教室です。介護のヒントやリラックス方法を学びましょう。

開催日 毎月1回

時 間 午後1時半から3時半 **定 員** 20名

開催場所 東部：千種区東部いきいき支援センター（千種区桜が丘11-1）

西部：まちかど保健室（千種区内山3-10-18 PPビル2階）

	東 部	西 部	内 容
第1回	10/23㊦	10/24㊦	ようこそ家族教室へ 講師：いきいき支援センター職員
第2回	11/20㊦	11/28㊦	認知症について正しく理解しよう 講師：黒川医院院長 黒川 豊 先生（認知症サポーター医、千種区認知症地域連携の会代表世話人）
第3回	12/18㊦	12/19㊦	介護保険サービスなどについて知ろう 講師：いきいき支援センター職員
第4回	1 / 22㊦	1 / 23㊦	認知症の方へのかわりについて学ぼう 講師：介護施設等で認知症介護に携わる専門職
第5回	2 / 19㊦	2 / 27㊦	介護体験を聞こう 講師：認知症の人と家族の会

申込期限 東部 10/21(月) 電話 781-8343 西部 10/22(火) 電話 763-1530

～みんなで話ませんか？～

●家族サロン(憩いの場)

日頃の介護の悩みや不安を話し合う交流会や情報交換などを行います。

開催日 毎月1回

時 間 東部 午後1時半から3時半

西部 午前10時から12時

(ご希望の方のみ自費でお弁当を用意致します。)



東部	10/17㊦、11/21㊦、12/19㊦、1/23㊦、 2/20㊦、3/20㊦
西部	10/28㊦、11/25㊦、12/16㊦、1/27㊦、 2/24㊦、3/24㊦

～あれ？何だかおかしいと思ったら～

●医師(もの忘れ相談医)の専門相談

認知症の症状や治療についてお困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。

開催日 毎月1回

時 間 午後2時から3時半

定 員 3名(先着順)


東部	10/15㊦、11/19㊦、12/17㊦、1/21㊦、 2/18㊦、3/18㊦
西部	10/25㊦、11/22㊦、12/20㊦、1/24㊦、 2/21㊦、3/28㊦

～忘れても大丈夫

安心して暮らせるまちづくり～

●認知症に関する普及啓発

認知症の方が住みなれた地域で自分らしく暮らすためには、ご家族だけでなく地域にお住まいの方々の理解や支えが必要です。いきいき支援センターでは認知症に関する普及啓発のため、「認知症サポーター養成講座」を実施します。

開催日 毎月1回

時 間 午後2時から3時半

グループへの出張講座に
についてもご相談に応じます

認知症サポーターとは…

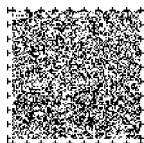
「認知症サポーター養成講座」を受講し、認知症についての正しい知識を持った、認知症の方やご家族の応援者です。

東部	10/24㊦、11/28㊦、 12/26㊦、1/30㊦、 2/27㊦、3/27㊦
西部	10/16㊦、11/13㊦、 12/11㊦、1/15㊦、 2/12㊦、3/12㊦

開催場所・申込み・問合せ

東部…千種区東部いきいき支援センター（千種区桜が丘11-1） 電話 781-8343
大和、上野、東山、星ヶ丘、自由ヶ丘、富士見台、宮根、千代田橋学区にお住まいの方。

西部…千種区西部いきいき支援センター（千種区西崎町2-4-1） 電話 763-1530
千種、千石、内山、高見、春岡、田代、見付学区にお住まいの方。





名古屋市高齢者の見守り支援事業 ～高齢者の孤立防止をめざして～

高齢の方などが孤立状態にならないよう、地域における見守り活動を支援することを目的に、平成25年度から「名古屋市高齢者の見守り支援事業」を開始しました。

見守り支援員

各いきいき支援センターに専任の見守り支援員を配置し、個別訪問や面接相談を行います。

孤立死防止・日常の孤立防止

地域から孤立した状態であることが疑われる高齢者に対して、必要なサービスにつないだり、地域との関わりづくりへの支援を行います。

見守り電話「いきいきコール」

見守り支援が必要な方の安否確認や孤独解消のため、ボランティアと協力して見守り電話「いきいきコール」により、定期的に連絡をとります。

このような気になる 高齢者の方はみえませんか？

- ☐ 新聞や郵便物が何日もたまっている
- ☐ 外出するところをほとんどみかけない
- ☐ ひどく痩せてきている・とても体調が悪そう
- ☐ 親族や近所との関わりがないようだ
- ☐ 大量のゴミなどで住まいの環境がよくない
- ☐ 保健・医療・福祉のサービスを受けていないようだ

若年性認知症講演会のご案内

「若年性認知症の理解を深め、みんなで支えあうために」

講師 藤本クリニック 院長 藤本 直規 氏
滋賀県で「医療も、ケアも」をスローガンに、若年・軽度認知症自立型デイサービス「もの忘れカフェ」等を実践されています。

日時 2013年 **10月27日(日)**
13:30～15:30 (受付開始 12:30～)

場所 千種区役所 講堂 (千種区覚王山通8-37)

参加費 **無料**

定員 350名 ※事前申込不要、当日先着順

問合せ 認知症相談支援センター 電話 **763-1552**

ぜひご参加
ください!



「な～や」

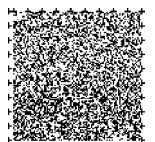
認知症に関する専門の電話相談窓口のご案内



認知症に関する様々な相談に応じます。お気軽にご相談ください。

認知症コールセンター 電話 763-1332

受付時間は月・水・木・金 10:00～16:00 火 14:00～20:00 (年末年始・祝日を除く)
(相談は無料です。※通話料はかかります。)



料理にチャレンジ2013 ～男性シニアと学生の交流会～

● 8月5日(月)、調理専門学校(調理専門)の学生の指導を受けながら、男性シニアが料理にチャレンジする交流会をニチエイ調理専門学校にて開催しました。

普段は奥様やご家族に料理を任せっきりの方も、参加者同士はもちろん専門学校の学生との会話も楽しみながら料理をされました。参加者の方々からは「献立は今の季節にピッタリ、家で挑戦します」「学生さんが素材を生かす方法を話してくれたのがうれしかった」等の声がありました。

また、参加した学生からは「自分たちの年代では、高齢者の方と交流する機会がなかなかないので、新鮮ですごく楽しかったです」との声が聞かれました。

今回の料理教室の体験を、男性シニアの方々が家庭で料理をつくるきっかけにしていきたいと思います。



調理風景

千種区障害者自立支援協議会 啓発事業「映画上映会」のご案内

フランソワ・クリュゼ×オマール・シー

最強のふたり

事故で全身麻痺となり車いす生活を送る富豪、開口一番「不採用のサインをくれ」と切り出した場違いな介護士。クラシックとソウル、高級スーツとスウェットー異文化2人のセット生活。全てにわたり二人の世界は衝突し続けるが、やがて互いを受け入れ、とんでもなくユーモアに富んだ最強の友情が生まれ始める。ーところが…

■日時／2014年2/9日
午後1時30分～(午後1時開場)

入場
無料!

■会場／千種区役所 講堂

※ご来場の際は、公共交通機関でお越しください。

■定員／200名

■主催／千種区障害者自立支援協議会

★区内の障害者作業所の製品販売あり!

問合先 千種区障害者地域生活支援センター 電話 711-2508 ※車イス等配慮が必要な方は、事前にお申し出ください。

社協

しゃきょう



Q. 赤い羽根共同募金に売上金の一部が寄付される千種社会福祉協議会にある自動販売機。120円のジュース1本あたりの寄付金額は?

①約1円

②約6円

③約10円

【応募方法】ハガキにクイズの答えと広報紙「はなみずきのまちだより」の感想をお書きください。住所・氏名・電話番号・年齢を明記のうえ千種区社会福祉協議会「社協クイズ」係まで。締切は11月29日(金)とさせていただきます。

☆正解者の中から抽選で10名に記念品をプレゼントします。



社会福祉法人 名古屋市千種区社会福祉協議会 (千種区在宅サービスセンター内)

〒464-0825/名古屋市千種区西崎町二丁目4番地の1

●お問い合わせ先 電話番号が増え、今までよりご利用に応じお電話いただけることになりました。

TEL 【代表】……………052-763-1531

FAX 052-763-1547

【ボランティアセンター】……………052-763-1536

【千種区西部いきいき支援センター】052-763-1530

【認知症コールセンター】……………052-763-1332

【認知症相談支援センター】……………052-763-1552

【千種区介護保険事業所】……………052-763-7842

【デイサービス】……………052-763-1331

ホームページ



<http://www.chikusa-shakyo.jp>

